

## 第96回 高尾山GREEN CLEAN作戦

2019年5月4日(土) 晴

案内川からカジカガエルの鳴き声が聞こえてくる小公園で開会式を実施。その間、公園脇のハイカー用道路はゴールデンウィーク中の土曜日も手伝ってか人の流れが途切れることがなく、高尾山山頂を目指す人の数は予想もつかない。

人を掻き分けるようにして6号路に入る。ガビチョウの賑やかな鳴き声が響き、時々オオルリの声も聞こえてくる。ミドリハコベ、イロハモミジ、ツルカノコソウ、ヤマグワとマグワ、シャガ、アオキ、キランソウなどを観察する。ウワバミソウでは「ウワバミ」は「ヘビ」のことで、沢沿いの6号路はまさにウワバミソウのハビタツ。雌雄異株、雄株の花序に柄があり、雌株の花序には柄がない。東北ではミズと呼ばれる山菜。雪国のものはどうしてあかも大きいのかと説明を聞く。

6号路は登りの一方通行のはずだが琵琶滝から時々降りてくる者がいて多少の歩きづらさが発生。サラシナショウマ、ツクバキンモンソウ、チゴユリなどを観察。チゴユリは花を垂れて付ける。和名は「小さく可憐な花を稚児行列」にたとえた。沢から離れた尾根沿いの明るい場所を住みかとする。

昼食はもみじ台。日陰が恋しいほどの暑さの中で昼食を済ます。全体写真撮影後、高尾山山頂を目指して階段を登る。ワニグチソウを覚えてもらう。苞が神社や寺の鰐口に似ているのが名の由来。コバノタツナミソウはタツナミソウの変種で葉に短毛が生えビロードのようにふわふわした感じで全体に小さい。これは癒し効果抜群で心を柔らかくするのに適している。

2時過ぎころからパラパラと雨が降り出したが、2時半ころにはそれぞれの班が小公園に戻った。班ごとに整理体操の後、次回6/1、稲荷山コースを確認して解散。



もみじ台で集合写真

班長の豊かな植物解説。タイムキーパーのポイントごとの位置情報提供。混雑を極める高尾山で予定通り行程を刻みながら進んでいく組織的な運営。真っすぐ歩けないほどの数のハイカーが来ても高尾山のゴミはなぜ少ないのか。その理由の一つに FIT の GREEN CLEAN 作戦の活動が関わっていることは、「ゴミを拾っているよ」というハイカーから聞こえてきた声からも分かる。

スタッフ及び会員のみなさん、ありがとうございました。

拾い集めたゴミは燃えるゴミ 45ℓ 1袋、ペットボトル・缶・ビン各少々（出発前に拾ったゴミを含む）

開催場所：琵琶滝コース〔6号路～5号路～もみじ台～高尾山頂〕

参加者：62名（一般29名、FIT会員33名）

スタッフ：入江〔代表〕、稲葉、臼井、熊木、野坂、廣川〔写真〕、福田、槇田〔補足編集〕

報告者：増沢 強

\* 次回の「第97回高尾山GREEN CLEAN作戦」は6月1日(土) 稲荷山コース  
高尾山口駅 9時30分集合、稲荷山～5号路～もみじ台～高尾山







開会式：安全の注意



6号路：ヤマゲワを観察



6号路：シダを観察



6号路：足元氣をつけて！



6号路：飛び石を登る



ウバミソウ：ウバミとはヘビのこと



チゴユリ：稚児の行列



コバノタツナミソウ：癒し効果抜群